



森の守護神

森ボラ 通信

第214号 2020年3月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 冬の観察会 ◆

3月3日(火)は年間に5回程行っている観察会の冬版です。この日の積雪は70cm程で、表面を降ったばかりの軽い雪が覆っていました。

E-7区で手ノコによる整理伐を行った後に、全員で右精進川を渡り、E-5,4区を経由して目的地のE-1区まで、佐野さんを先頭にスノーシューを履いて歩きました。E-5区では澄川環境林内の胸高直径が一番大きなイタヤカエデ(2018年3月調査:45.7cm)から盛んに樹液が湧出している様子を観察し、樹液採取への期待がわきました。



上流橋で全員集合！

E-1区では4年ほど前に外来種であるニセアカシアの「巻枯らし」を行いました。その後の状態を観察して、今後このまま朽ちるのを待つのか、伐倒した方が良いのかを皆で確認しようと思いました。「巻枯らし」したニセアカシアは当初の見込み通りに枯れ、枝先の細い部分は折れて落下し、太い枝が残っていました。今後の会員例会、幹事会で議論を重ねていきたいと思います。

帰り道は、屋根に高く雪をいただいたE地区避難小屋、上流橋を経由して戻りました。歩いた距離は2.5km程と気持ちよい運動となり、最後に森のコーヒーを味わいました。(文・樫棒)



E-5区のイタヤカエデの雄姿



巻枯らしを施したニセアカシア

活動報告

◆ 冬の森を歩いて足跡・冬芽を観察し、伐木を体験する！

～2019年度親子森林教室・森しり隊 第6回活動報告～

第6回親子森林教室は澄川環境林で2月16日(日)に隊員8名、保護者他11名、協会員19名の総勢38名で開催されました。天候は曇り、開始時の気温-4.5度と厳しい寒さの冬の森で頑張っているいろいろな体験をしました。朝礼では、今までの親子森林教室のみんなの活動が評価されて総理大臣賞を

受賞したという嬉しいニュースと、札幌市みどりの課から許可が下りず暖房が無いので止むなく半日活動に変更したという残念な経緯が紹介されました。



雪上に動物の足跡を発見

冬の森歩き以降の活動は、大窪さんが班長で蘭さん、真緒さん、美和さん、一茶君、就太郎君の班と、樞棒さんが班長で亮輔君、隼悟君、桂子さん、蒼波君の班の2班に分かれて行われました。森を歩きながら雪の上に印されたキツネとタヌキの足跡や木につけられたシカやケラの食痕を見つけて観察しました。タヌキの足跡には少し変な形のものもあり、年寄タヌキ？など想像を膨らませました。もう少し時間をかけてタヌキやキツネのように自由に森の雪に足跡を残せたら良かったですね。

チェーンソーによる伐木見学では、矢澤さんが実際に使う道具（なた、鋸、チェーンソー、くさび）をみんなに見て貰いながら整理伐について説明しました。チェーンソーで受け口を作ってから追い口を切って木を倒す伐倒作業は圧巻でした。太いミズナラが狙った方向に音を立てて倒れると大きな歓声が上がりました。倒した木の高さを実測する前にみんなに推測してもらいましたが、さすが酒井さんほぼ実測値（18.5m）を言い当てました。

次は樹高測定です。高さを測る木を決めて、10メートル離れた場所から木のてっぺんを何度かの角度で見ることができるかを測ります。その角度から木の高さが解ります。測定器を使って一人一人が測ってみました。協会員がわかりやすいように木を揺らしましたが、木のてっぺんを測定器で捉えるのが難しく、同じ木を測ったのに少しずつ高さが違ってしまいました。実際に標準木の樹高測定をしても正確な測定は難しいと感じるのは私だけでしょうか？

それから親子協働作業で整理伐対象木を手鋸で伐って片付けます。あらかじめ選んであった木は10cm弱の太さで少し物足りなかったようでしたが、「鋸で木を切って楽しかった」、「木ってこんなに硬い」、「木の種類によって硬さが違う」など多くの隊員が手ごたえを感じたようです。見守っていた保護者も協會員の鋸を借りて片付けに参加し満足そうでした。自分たちで伐った木を記念に持ち帰りました。

続いて澄川の森ではクリの木が枯れてきて胴枯れ病という病気が広がっているのではないかと心配しているという酒井さんの話を聞いてから、ミズナラ、ホオノキ、キタコブシ、アカエゾマツの枝を持った4人の協會員のところを順番に巡って、それぞれの冬芽を見ながら冬芽の形や木の特徴などの説明を聞きました。まだ天気予報がない昔、お百姓さんはキタコブシの花が咲く時を目安に仕事を始めたことなどを知りました。

森の活動の最後は、伐倒したミズナラを2メートルほどに切った丸太を各班で一本ずつ、スキットコーンを前に付けて、ロープを掛けてみんなでテン



手ノコで伐木体験



ミズナラの冬芽を観察



丸太をみんなで引っ張って遊ぶ

ト小屋まで引いて帰りました。もちろん協会員が後ろでロープを持ってブレーキを掛けながら安全に気を配りました。「すっごく重い!」「疲れたー」と今まで経験したことのない木の重みを体感したようでした。丸太は薪にします。

小屋に帰り着くと、寒い中で活動したみんなに温かい飲み物が用意されていました。その暖かさを楽しみながら最後のまとめをし、次回の予定を連絡して無事終了しました。参加いただいた協会員の皆さん お疲れ様でした。(文・佐野)

◆ 澄川南小学校4年生が総合学習で澄川都市環境林へ

2月25日水曜日、朝から澄川南小学校4年生約70名と先生3名が澄川都市環境林に総合学習でやってきました。

森の入口からマイツリーの森まで、スノーシューを履いた協会員3名が先に歩きルートを作りました。生徒たちは、元気いっぱい歩いて第一樹木園横の森に到着し、協会員の酒井さんから北海道の木や冬芽についての話がありました。その後、3年生の時に各班で設定したマイツリーがどんな状態であるか観察を行いました。

当協会では、澄川南小学校に対して2年生から6年生まで、年間15回ほど澄川都市環境林を活用した総合学習の支援を行っています。キノコの学習、マイツリーを設定して樹木の生長の観察、木板を使ったネームプレート、樹名板の作製、自然観察会などがその具体的な支援活動です。(文・矢野)



澄川環境林の北側入口に到着



みんなでマイツリーの生長を観察

■ 澄川の自然 7

ナニワズ(難波津) ジンチョウゲ科

秋にはもう蕾を付け、長い冬の間は重たい雪の中に埋もれてじっと春を待ちます。

春の日差しが暖かくなると雪の下で黄色い花を咲かせます。

葉は常緑の様に見えますが夏に全部散ってしまうので別名夏ボウズともいわれています。実は有毒。(文・西野(澄))/写真・三橋



新入会員の紹介～よろしくお願ひします!

石飛博美さん(南区石山東) 趣味:麻雀、パークゴルフ、登山、ボランティア

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤・矢野

1. 2020年4,5月スケジュール(4月幹事会4月7日(火)):3/28有明第二環境林の冬囲い状況観察は澄川終了後に訪問。4/14会員例会で整理伐の基準確認。2020年度活動計画一部修正
2. 2020年2月会計報告:2月会計、3月収支見通しを了承
3. 親子森林教室:第7回は万全の用意をして屋外実施。2020年度親子森林教室参加者は13名
4. 森林・山林多面関係:令和元年度実施状況報告書を提出し確認された。新年度申請書提出済
5. 野幌道有林復興支援:助成申請書作成中(道新野生生物基金)。岡村先生(近自然森づくり協会理事長)現場視察を依頼予定
6. 2020年度イベント計画:北海道植樹祭、道民森づくり、全国育樹祭、オイスカ育樹祭、マチなかNPO
7. 報告
 - ・2/14野幌森林再生活動報告会:野幌の国有林再生活動は2021年度以降
 - ・2019年度澄川冬季整理伐状況:50%程が終了。今年度は途中で終わる見込み
 - ・2020年度プロジェクトリーダー:活動を次の世代に確実に引き継ぐために一部の入替えを4月から実施
8. 現場対応他～コロナウィルスの感染状況を踏まえた対応措置:3月冬季セミナーは4月に延期
9. その他
 - ・CGC 愛のチャリティーキャンペーンより寄付金:3/19横山理事長面談予定
 - ・個人の装備の取扱い基準を確認、今後はこれに基づいて対応
 - ・第18回総会及び理事会5月7日(木)15:00～16:30
 - ・「札幌市みどりの基本計画」の制定を踏まえた都市環境林の今後の対応:行政との繋がり、みどりの管理課との連携強化を図っていく

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月16日(日)	澄川	19	第6回親子森林教室
2月19日(水)	澄川	11	E-7区整理伐
2月20日(木)	かでの2.7	3	多面事業説明・事例発表会
2月21日(金)	澄川	11	E-7区整理伐
2月25日(火)	澄川	11	E-7区整理伐
2月29日(土)	澄川	-	コロナウィルス対応のため活動中止
3月3日(火)	澄川	13	E-7区整理伐(手ノコ)、観察会、樹液採取
3月5日(木)	澄川	12	E-7区整理伐、樹液採取
3月9日(月)	澄川	15	E-7区整理伐、樹液採取
3月11日(水)	ラルズ生活研究C	11	幹事会
3月12日(木)	澄川	20	E-7区整理伐、樹液採取
3月16日(月)	澄川	16	E-7区整理伐、親子森林教室準備、樹液採取